

2023年9月20日リリース

## 富良野市中心市街地の基準地価が上昇

～前年対比「5.2%」上昇、2013年対比「26.3%」上昇～

平素はふらのまちづくり株式会社の運営に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、国土交通省が9月19日に発表した2023年（R5）7月1日現在の基準地価によりますと、富良野市内の中心市街地地区においてフラノマルシェ及びネーブルタウンが面する東五条通沿いの「富良野市幸町7-28」の地価が対前年比で5.2%上昇し、上川総合振興局管内の商業地では管内トップの上昇率となりました。

2013年対比では26.3%上昇しており、これは富良野市が2008年（H20）より公民協働で実施してきた中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の効果と考えられます。

### ■ 公民一体となった協働のまちづくりを実践

富良野市では、2008年11月に富良野市中心市街地活性化基本計画「計画期間：2008年（H20）11月～2014年（H26）10月まで」が内閣府の認定を受け、この計画に基づく第1期事業として、2010年（H22）に「フラノマルシェ」を開設致しました。

集客数は初年度の約55万人から右肩上がりの成長を続け、2015年（H27）6月には第2期事業である市街地再開発事業「ネーブルタウン」が完成。同年オープンした「フラノマルシェ2」も好調で、2017年（H29）には入込客数が122万人強を記録しました。2018年度（H30）は北海道胆振東部地震、それに次ぐブラックアウトによる臨時休業等の影響で9年連続での入込客数更新とはならなかったものの、1.4%の落ち込みに留め、その後もコロナ禍により20～25%のダウンを余儀なくされたものの、昨年度はV字回復により過去最高の売上を記録。2023年度も9月19日現在、入込・売上共に前年を上回り、引き続き好調を維持しております。

これらの事業は、公益的ディベロッパーである「ふらのまちづくり株式会社」が事業主体となって、国の政策に基づき中心市街地の再編を主導し、市は計画策定・補助金等の支援を行うなど、行政と民間がそれぞれの役割分担を明確化し、公民一体となって取り組んで来た「協働のまちづくり」の成果と考えます。加えて、本市中心市街地基準地価の上昇は、中活基本計画に基づく一連の事業展開が大きな効果を及ぼしたものと思われ、中心市街地の価値向上と共に商店街の資産価値の向上によって、まちなかの賑わい（活性化）に一層拍車がかかっていくものと考えております。

今後も引き続き、本市中心市街地活性化の一つのバロメーターとして地価の推移を注視しつつ、中活基本計画に基づく事業展開を着実に推進していきたいと考えております。



#### 【本件に関するお問合せ】

ふらのまちづくり株式会社  
統括マネージャー 吉田 育夫  
広報チーフ 藤田 美緒

TEL : 0167-23-5177 Fax: 0167-22-0511

E-mail : info@machi.furano.jp